

2010年度 リーディング・ユニバーシティ募金による
「地域リーダー育成」助成金 活動報告書

2011年3月 法政大学 国際文化学部 堀上ゼミ

2010年度「地域リーダー育成」助成金・活動総括

国際文化学部 堀上 英紀

【テーマ】

『過疎集落、石川県羽咋市菅池町の地域活性化活動』

【目的】

日本各地の農村（福井県三国市、静岡県松崎町、群馬県富岡市など）に見られる第一次産業の衰退は、少子高齢化と産業としての経済効率の低下によるものと言っても過言ではない。しかし食の安全保障を考えると、この衰退を看過することはできない。消えゆく農村の活性化を図り、農業従事者の確保・増員を目的とするには、様々な人々を現地に呼び入れて実体験してもらうことが一番である。

羽咋市菅池町は、周囲を山で囲まれた中山間地で、昭和の初期には戸数が50を超え、小学校の分校があったとのことであるが、1972年には戸数が36となり、その後減少の一途を辿っている。2006年8月にゼミ生たちと援農ボランティア活動を始めた時点では、40歳以下の住民が2人しかおらず、全戸数は27（総住民数77名、2006.5.）で、住民の51.4%が65歳以上のほぼ限界集落*に近い農村であった。2005年の農林業センサスによれば、菅池の農業従事者数は12名、総経営耕地面積は1,056 a、耕作放棄地はおおよそ20%であった。現在では、農業従事者の減少と高齢化のため、耕作放棄地は30%を越えているようである。その後、羽咋市役所の過疎対策（空き地空き農家情報バンク制度）や我々の活動もあって、現在までに2組の30代初めの若者（1家族5名と有機農業経験者1名）が移住し、限界集落から脱しつつある。

しかし、将来を見据えた場合、住民を含む地域の協力なしでは持続的な地域活性化は困難と思われる。そこで、羽咋市に住む若者（例えば高校生など）や都会の若者（例えば大学生やフリーターなど）を呼び入れて共同で地域活性化に繋がるイベントを催す。

*限界集落とは、人口の50%以上が65歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落のこと。

【計画】

当ゼミが全国で最初に（2007.3）製作し、今では恒例となった棚田を雛壇に見立てた『巨大雛人形』を羽咋市の目玉行事の一つとして定着するよう市役所、羽咋市農業振興地域整備促進協議会、高校などに働きかけて地域活性化に繋げる。そして『巨大雛人形』の活動がより広い地域に知れ渡るようにHPなどを利用した宣伝を行う。

【活動内容】

2010年の夏期援農合宿（8/4～8/12、於菅池町）の際に、羽咋市役所・農林水産課 1.5次産業振興室の総括主幹である高野誠鮮氏ほか1名、とゼミ生2名および私の計5名で羽咋工業高校に出向き、『巨大雛人形』のデザインと組み立て作業への協力を要請した。高校側からは下根浩明教頭、畠山浩樹建設造形科長、向井章デザインコース教諭の3名が立ち会われた。『巨大雛人形』に関するこれまでの経過説明と話し合いの結果、デザインコースの生徒の参加に関しては、雛人形の製作時期が年度末試験と重なるため、『巨大雛人形』案のみ協力の了解が得られた。

一方、菅池町の隣町である宝達志水町の役場職員（田上諭史氏）を通じて我々の活動を知った明治大学の農業系サークル「農学の士」からコンタクトがあり、2度に亘る打ち合わせの結果、『巨大雛人形』の製作に延べ6名（男子5名、女子1名。添付資料-1）の学生が参加してくれることとなった。今回参加した本ゼミの学生は全員女子のため、男子明大生の参加がなければ『巨大雛人形』は完成しなかったと思われる。

なお、今回の『巨大雛人形』のお披露目には、初の試みとして夜に花火を打ち上げることを企画したので、花火打ち上げの段取りをすべてゼミ生が行った。

また、直前の2月17日～18日に行った現地の事前下見（教員のみ）では、近年まれに見るドカ雪のため、雛壇の製作予定地への道路が春まで通行止めとなり、急遽代替地を探すことになった。そのため、予定したデザイン案が没となり現地で新たに作るようになった。

菅池到着の初日は、現場の除雪から始まった。準備期間中は曇天続きであったが、お披露目前日の2/25早朝、強い風雨のため『巨大雛人形』の一部が損壊するトラブルが発生し、その修復に時間を取られることになった。しかし、お披露目当日（2/26）は朝から快晴に恵まれ、午後6時から投光器6台によるライトアップの中、午後7時から打ち上げた花火は星空の下、一層鮮やかなものとなった（添付資料-2～6）。自家用車でやって来る観客の交通整理は、参加学生が中心となって行い、午後8時に無事終了した。お披露目の2日目は曇天で午後3時頃から小雨となったが、観客は前日並みに訪れ、午後7時に終了した。2日間の総観客数は、述べ1,000名を超えた。今年の巨大雛人形は干支にちなんで「ウサギ雛」としたため、取り分け小さな子どもさん連れには、大好評であった。観客の大半は、初めて来てくれた人々であったが、毎年楽しみにしていると話されるリピーターの方々も見えられた。

【今後の展望】

石川県では、2010年12月17日付けで日本初となる世界農業遺産（GIAHS）*への登録を国連食糧農業機関（FAO）に申請した（添付資料-7）。羽咋市・七尾市・輪島市・珠洲市と中能登・志賀町・能登・穴水の4市、4町にある農業・伝統文化・風景などを含む農業遺産を残そうとするもので、我々の活動してきた菅池町の『巨大雛人形』も含まれることになった。今後FAO評価チームによる視察が行われ、年内には認可の可否が決まるとのことである。

【成果】

巨大雛人形の2日間のお披露目には、県内だけでなく富山県などから延べ1,000名（初日639名、2日目504名、ゼミ生調べ）を超える人々に来て頂き、地域活性化イベントとして大きな成果を挙げることができた。（添付資料-8～10）

今回は『巨大雛人形』のチラシ（添付資料-11）を羽咋市役所や道の駅（野菜の直販所、「神子の里」）、カフェなどに置かせて頂いたこと、連日新聞に記事が掲載されたこと、羽咋市役所のHPで『巨大雛人形』の宣伝をして頂いたこと（添付資料-12～14）が成果の主因と思われる。

石川県が、日本初となる世界農業遺産（GIAHS）への登録を国連食糧農業機関（FAO）に申請する一端を担うことができた。

このような成果は、2006年から行ってきたゼミOBたちの積み重なる実績の上に為し得たことで、過疎地域の地域活性化には更に地域を巻き込んだ活動が不可欠である。

* GIAHSとは、GLOBALLY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMSの略称で、世界重要農業遺産システムのこと。国連食糧農業機関（FAO）が、グローバル化の影響で、衰退の途にある伝統的農業や文化、土地景観の保全および持続的活用の推進を図ることを目的に、2002年に開始した。

2011.2.ひな壇合宿参加者日程表

2011.3.2

学年	氏名	2.23(水)	2.24(木)	2.25(金)	2.26(土)	2.27(日)	2.28(月)	交通手段	羽咋駅着時刻
1	堀上 英紀						帰京	ANA	菅池直行
2	丸藤 裕子						帰京	列車	9:41am
3	清水 遥						帰京	列車	9:41am
4	下田 佳奈						帰京	列車	9:41am
5	柴原 浩美						帰京	列車	9:41am
6	本間 優希						帰京	列車	9:41am
7	深沢 昭子						帰京	列車	9:41am
8	相磯 未希			帰京				列車	9:41am
9	浦島 万由佳						帰京	列車	9:41am
10	吉田 聖						帰京	列車	9:41am
11	長南亮太				帰京			列車	9:41am
12	竹本祐子		帰京					列車	9:41am
13	市川大祐		帰京					列車	9:41am
14	小林大介						帰京	列車	9:41am
15	澁澤岳史						帰京	列車	9:41am
16	出野智紀						帰京	列車	9:41am

*赤字は女子

*太線以下は明大生



第5回 菅池ひな壇作り合宿 (2011.2.26) 法政大学・国際文化学部





第5回 菅池ひな壇作り合宿 (2011.2.26) 法政大学・国際文化学部





ふるさと不足に読んで効く



ご購読のお申し込みは

電話 ☎ 0120-367-464

オンライン **ご購入** **試読紙**

紙層のご案内はこちら



ふるさとメディア

ホーム

今日の社説

コラム「時論」

「地縁り」投稿

本 アクタス・北国文庫

求人・転職情報

北国新聞社より

読者のダイヤル&メール

北国新聞データサービス

紙面や写真をオンライン注文

紙面プリント 記念日新聞
掲載写真 空撮写真

過去の新聞記事、紙面を検索

掲載した紙面をそのまま表示

BRAUN

なくもり次第終了!

1億円
カウントダウン!

石川のニュース [12月19日03時17分更新]

能登の里山里海、世界農業遺産に 国内第1号へ申請

羽咋市以北の4市4町は18日までに、石川県と国連大の推薦を受け、国連食糧農業機関（FAO）が認定する「世界農業遺産（GIAHS）」に「能登の里山里海」を登録しよう申請した。風景や文化・祭礼、さまざまな動植物の一体的保存と価値の創出を図る。登録が実現すれば国内第1号となり、能登が世界の里山里海のモデルとして発信される。

世界遺産が遺跡や建造物、自然を登録対象としているのに対し、世界農業遺産は現在も営まれている農業活動と、その基盤となる生物多様性を重視している。「遺産」として次世代への継承を目指す点は共通する。県は「能登の里山里海」が登録される可能性は大きいとみている。

国連が定める「国際生物多様性年」を機に、七尾、輪島、珠洲、羽咋、志賀、中能登、穴水、能登の各市町は世界農業遺産登録を目指す協議会を設置。武元文平協議会長（七尾市長）が署名した登録申請書を、今日17日付でローマのFAO事務局に提出した。

「能登の里山里海」を象徴するものとして、県は千枚田（輪島市）や春蘭の里（能登町）、漆沢の池（七尾市）などの「景観」、揚げ浜式製塩（珠洲市）や能登各地の炭焼きなど里山里海の資源を活用した「伝統的技術」、奥能登のあえのことや能登各市町に伝わるキリコ祭りなどの「文化・祭礼」を挙げる。

「里山里海の利用保全活動」としては、農産物のブランド化などに取り組む輪島市町野町金蔵地区、羽咋市神子原地区を例示。ホクリクサンショウウオやトミヨなどの希少種、神子原くわいや中島菜を「多様な生物資源」としている。

里山里海は生活様式の変化や過疎化などで荒廃が進み、さまざまな動植物の生息環境の維持が難しくなっているとされている。

世界農業遺産に登録されれば、里山里海保全に向けた国際的なネットワークの構築や、観光誘客促進が期待され、武元会長は「能登の豊かな自然や文化を地域の『宝』として再認識するきっかけになり、能登の魅力も高まる」としている。

谷本正憲知事は19日、金沢市の県立音楽堂で開かれる国連「国際生物多様性年」のクロージングイベント記念シンポジウムで、申請の経緯や登録の意義などを説明する。



能登地区の代表的景観である千枚田。文化・祭礼、生物多様性の保全に向け、能登の4市4町が世界農業遺産登録を申請した。=2009年9月、輪島市白米町

石川のニュース

ニユース石川



巨大ひな壇作りを始めた学生や住民
|| 羽咋市菅池町

巨大ひな壇 準備着々

羽咋・神子原

羽咋市神子原地区の
棚田をひな壇に見立て
た「巨大ひな壇」作りが
23日、同市菅池町で始
まった。5年目の今年
は「能登の里山里海」の
世界農業遺産（GIA
に地元住民7人が参加
した。今年はまだ積雪
が約50センチあり、作業は
あぜ道の除雪から始ま
った。男子は竹を切り
出して人形の骨組みを
作り、女子は顔や体と
して貼り付ける布を縫
い合わせた。

7日、ウサギのお内裏さま

26、27日に披露

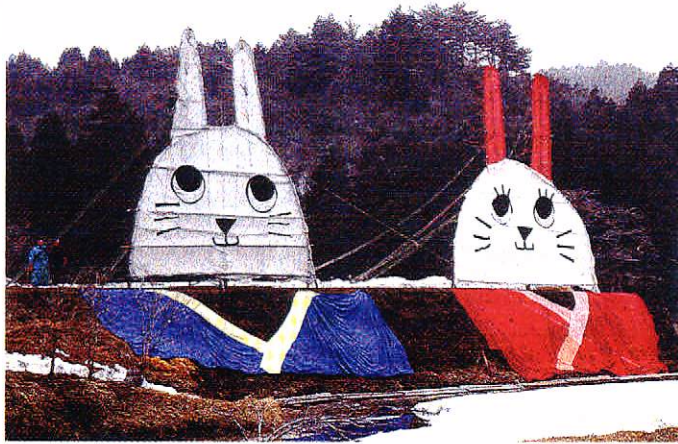
H.S.)への登録申請記
念事業として実施し、
26、27日に披露する。
作業には同町で農業
体験などの交流を続け
る法政大国際文化学部
の堀上英紀教授のゼミ
生と明治大生の計10人
今年には羽咋工高建設
造形科デザインコース
が初めてデザインし、
高さ7メートルほどの干支に
ちなんだウサギの内裏
びなが登場する予定。
26日夜には打ち上げ花
火もある。

ウサギ顔の 巨大びな

高さ8メートル 法政大生ら製作

法政大国際文化学部の堀上英紀教授(左)のゼミ学生たちが羽咋市菅池町の田んぼのあぜに、今年も高さ八メートルの巨大なひな飾りを製作した。二十六日午後七時からは打ち上げ花火も予定している。(島崎勝弘)

ゼミでは二〇〇六年 まちおこしを目的に巨から夏に現地で民泊に 大びなを作っている。よる合宿をしており、二十三日から明治大そのお礼を兼ねて〇七の学生も加わり、延べ年から毎年この時期に 十六人で竹で枠組みを



羽咋 夏合宿のお礼を兼ねて

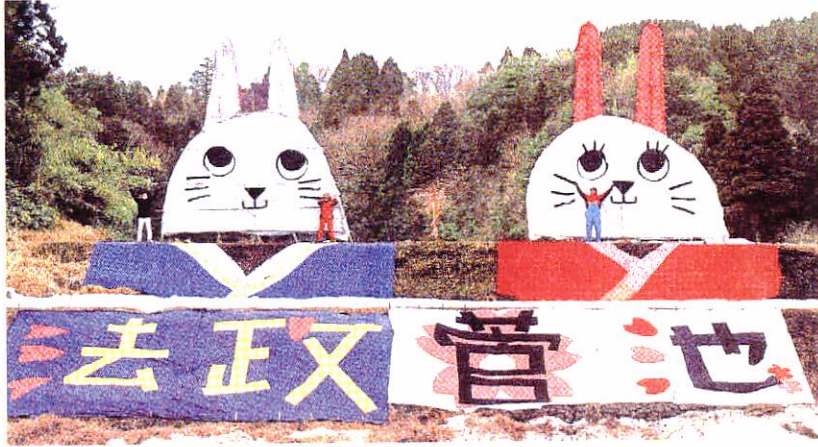
作り、布を張り付けてきた。今年は、地元の羽咋工業高校の生徒たちがえとのウサギをモチーフにデザインを担当した。

法政大国際文化学部四年の清水遥さん(三)によると、打ち上げ花火の費用の十万円は、ゼミの卒業生たちが寄せてくれた。堀上教授は「ひな飾りに今年ならではの残雪、そして花火を楽しんでいただければ」と話している。ひな飾りは二十七日まで公開している。

えとのウサギを模して作られた巨大ひな飾り。羽咋市菅池町で

巨大ひな壇 棚田に出現

羽咋・神子原



棚田に登場した巨大ひな壇—羽咋市菅池町

羽咋市神子原地区の棚田で法政大生と地元住民らが作っていた「巨大ひな壇」が25日、完成した。26、27日に一般開放し、一足早いひな祭りを楽しんでもらう。

今年「能登の里山里海」の世界農業遺産(GIAHS)への登録申請記念事業として手掛けた。26日午後7時から花火も打ち上げられる。

近い菅池町に作られた。羽咋工高建設形科デザインコースが干支にちなんでデザインしたウサギの内裏びなは高さ約8メートルで愛らしい表情を見せている。繭玉に似せた花も飾られた。



巨大ひな壇に 見物客が歓声

羽咋・神子原

羽咋市神子原地区の棚田で法政大生らが作った巨大ひな壇の写真が26日、一般開放され、多数

の見物客らが愛らしい表情のウサギびなを楽しんだ。

菅池町の会場には、市外からの観光客や地元住民らが訪れ、青空に映える高さ約8メートルのひな壇に歓声を上げた。金沢市八田町からドライブに来たという会社員横川伸昭さん(36)、美陽さん(37)夫婦は「耳がキラキラしてかわいい」と話し、喜ぶ娘の妃万里ちゃん(1)と写真に収まった。

巨大ひな壇は毎年作られており、今年「能登の里山里海」の世界農業遺産への登録申請記念として手掛けられた。一般開放は27日まで。



世界重要農業遺産システム申請記念イベント

菅池×法政大学 巨大ひな壇

日時 2月26日(土)・27日(日)雨天決行

場所 石川県羽咋市菅池町内
当日は現地までの看板と係員で案内します。
係員の指示に従って下さい。
(GIAHS世界重要農業遺産システム登録予定地)

花火予定 26日(土)19時～ 雨天の場合27日(日)

毎年恒例！
棚田を利用した
巨大ひな壇を
今年も法政大学と
地域の方々と
力を合わせて
製作します！

今年のデザインは
羽咋工業高校
デザイン科の
学生の案です！

主催：菅池郷作り委員会、菅池町会、法政大学、菅池山神様 協力：羽咋市、羽咋工業高校、明治大学



キーワード検索

検索

文字の拡大・縮小

あ (標準) あ (大) あ (最大) 色反転

ホーム 暮らし お知らせ イベント 手続き・申請・業務案内 各課・施設

現在の位置：[ホーム](#) / [イベント](#) / 巨大ひな壇の製作が始まっています【動画あり】

最終更新日時 2011年2月25日（金曜日） 19時39分 コンテンツID 3-23-2194-3131 [印刷用ページ](#)

巨大ひな壇の製作が始まっています【動画あり】

情報発信元 農林水産課 2階

[関連情報](#)

LIFE IS BEAUTIFUL! GIAHS 申請記念イベント

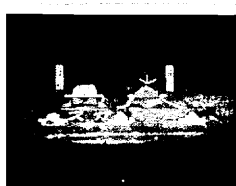
[お知らせ](#)



昨年のひな壇



二年前のひな壇



ライトアップされた三年前のひな壇

- 第7回石川ふるさとCM大賞 審査発表
- 「巨大ひな壇」が展示されました
- 柴垣海岸の海水浴
- 市民の力を活かしたまちづくり情報交歓会が行なわれました
- コスモアイル羽咋で平成23年成人式が行なわれました【動画あり】

[一覧表示](#)

[イベント](#)

- 蛇の目神事／鎮花祭 (はなしずめのまつり) - 毎年 4月3日・4日
- おいで祭 (平国祭) - 毎年 3月18日～23日
- 弥生人講座

[サービス案内](#)

- 平成22年羽咋市体育協会 最優秀、優秀、奨励選手賞表彰式が開催されました
- 平成21年羽咋市体育協会 最優秀、優秀、奨励選手賞贈呈式が開催されました。

平成22年度も、菅池町で法政大学生の皆さんの熱い思いと地元の皆さんのやさしい思いが一つとなって巨大ひな壇を創り上げます。

毎年あたたかい感動を呼んでいます
今年は打ち上げ花火も行われ
より素晴らしいものとなるでしょう！
是非お越しください。

[【今年の製作のようすをしてみる \(平成23年2月23日撮影・1分39秒\)】](#)

★菅池×法政大学 巨大ひな壇

世界重要農業資産システム (GIAHS: ジアス)、申請記念イベント

※GIAHSは、国連食糧農業機関 (FAO) が認定するもので、2002年に始まりました。農業や文化、景観環境に加え、生物多様性の保全と活用していくことが認定の対象で、日本では「能登」と「佐渡」の2箇所が申請中です。

■日時

2月26日 (土) ～2月27日 (日) 雨天決行

※夜間はライトアップします。

■場所

羽咋市菅池町地内 (G I A H S 世界重要農業遺産登録予定地)
当日は、現地までの案内看板が近くにありますのでご覧ください。

よくある質問

皆さまからよくいただく質問にお答えしています。

Q.探したい情報が分からないときはどうすればいいですか

一覧

■交通

町内の道路には、一部狭い箇所もございます。
係員の指示や、安全運行に心がけてお越し下さい。

■打ち上げ花火 (予定)

今年は打ち上げ花火を予定しています。26日(土)午後7時から(5分ほど)の予定です。雨天の場合は、27日(日)に順延します。

【食事処】

●「神音(かのん)カフェ」(定員15名)

棚田が広がる農村集落にある農家カフェ。現在では平日でも長蛇の列が並ぶことも・・・自家栽培野菜を使ったカレー、自家焙煎のコーヒー、オリジナルスイーツのセットがおすすめ。

[神音カフェブログ](#)

●「そば処 里山」(定員17名)

神子の里にある手打ちの蕎麦屋さん。神子原米おにぎりと地元野菜のてんぷら等の里山セット(要予約) 1,000~1,500円がおすすめ。

●【市内の観光や宿泊・お土産】

[羽咋市観光協会オフィシャルサイト](#)

[ご案内]

開催期間 2011年2月26日(土曜日)~2011年2月27日(日曜日)

[地図]



地図データ ©2011 ZENRIN -

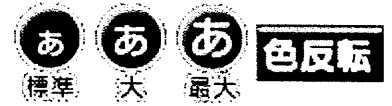
[主催者情報]



検索

検索

文字の拡大・縮小



ホーム [くらし](#) [お知らせ](#) [イベント](#) [手続き・申請・業務案内](#) [各課・施設](#)

現在の位置：[ホーム](#) / [お知らせ](#) / 「巨大ひな壇」が展示されました

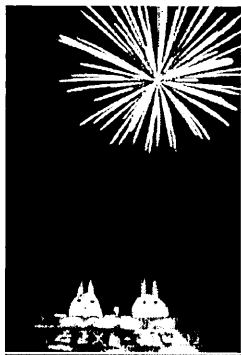
最終更新日時 2011年3月2日 (水曜日) 09時16分 コンテンツID 2-23-2194-3184 [印刷用ページ](#)

「巨大ひな壇」が展示されました

LIFE IS BEAUTIFUL! 世界重要農業遺産 (G I A H S) 申請記念 イベント



皆さんありがとうございます!



大学生OBの方々のご好意により、花火も上がりました!



今年は明治大学の学生さんも参加してくれました

平成23年2月26日と27日、神子原地区の菅池において巨大ひな壇が展示されました。今年は千人以上が見学に訪れるという盛況ぶり、26日にはライトアップされたひな壇にあわせて夜空に大輪の花が浮かびあがりました。

まだ雪が残るなか、お越しく下さいました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

このイベントは法政大学の方と地元の方が一体となって始まったイベントですが、今年は明治大学の学生にも来ていただきました。また、干支にちなんだウサギのデザインは羽咋工業高校の学生に考案していただいたりと、さらなる広がりをみせています。

学生の皆さまの活躍と地元の方の暖かいご援助により、今年も思い出に残るイベントとなりました。

【※落し物がありました】

26日夕方に、フィルムカメラの落し物がありました。お心当たりの方は、羽咋警察署(0767-22-1122)までご連絡ください。

[くらしの分類]

[観光](#) [観光](#) [\[イベント\]](#)

情報発信元農林水産課 2階

関連情報

お知らせ

- 柴垣海岸の海水浴
- 平成19年度 唐戸山神事相撲
- 唐戸山神事相撲の歴史
- 平成22年度 神子原地区(菅池町) 棚田オーナー制度 オーナー募集
- 第6回 妙成寺 五重塔まつり が開催されました【動画あり】

[一覧表示](#)

イベント

- 蛇の目神事/鎮花祭 (はなしずめのまつり) - 毎年 4月3日・4日
- おいで祭(平国祭) - 毎年 3月18日～23日
- 弥生人講座

学生報告書

『過疎集落、石川県羽咋市“菅池町”の地域活性化活動』

『羽咋市全体で準限界過疎集落の地域活性化に取り組む環境づくり』を目標に菅池町の方々とゼミ生が一体となり、1年間活動してきました。私たちのゼミと石川県羽咋市菅池町との間に交流が始まったのは今から5年前の2006年の夏です。菅池町もこの5年と言う時間の間に2組の若者が町に加わり（2011年にも1家族移住予定）、限界集落から脱出し少しずつではありますが昔のように活気づきつつあります。しかし、この先のさらなる町の発展を考えるならば、5年目を迎える今年度は見直しの年でした。例年通りの活動を行っていたのでは、私たち法政大学生が中心の活動となってしまう、活動できる時期や行動範囲が限られて地域活性化の効率があまりよくありません。地域活性化を行うのであれば、やはり地元の方々の参加が不可欠です。そこで、今年度は私たちゼミ生だけではなく地元の方々が率先して地域活性化活動を行っていきける基盤を作り上げることに重点を置いて活動をしていくべきだと考え、文頭の目標を定めました。特にこれから先の可能性を考えると若者の力は最大の武器になるだろうと推測し、私たちの春合宿の目玉イベントである棚田を利用した「巨大ひな壇作り」に若者の代表とも言える地元の高校生を組み入れることにしました。

【活動内容】

・5月：羽咋市役所農林水産課1.5次産業振興室の高野係長さんと菅池町会長の谷口さんに連絡を取り、今年の「巨大ひな壇作り」の意向を伝え了承を得る。

→町の未来について考える地域リーダーを育成していく為にも今年度は地元の高校生の力を借りて共同で製作していきたい旨を伝える。

・6月：羽咋工業高校デザイン科の向井先生と連絡を取り、「巨大ひな壇作り」の協力を求める。

→既に私たちの活動を新聞等のメディアで存じていたので、8月の援農合宿時に直接話を聞いてくれる約束を取り付ける。

※市内には2つの高校があったが、今年度は巨大ひな壇のデザイン案を高校生の視点から自由に考えてほしかったので、デザイン科がある羽咋工業高校に協力を求めた。

・7月：ゼミ内で地域活性化に対する目的意識の再確認と別の観点から菅池町を活性化できないか新たな企画を考える。

→羽咋市では神子原米が有名なことに着目し、米粉を使ったパンやお菓子を合宿中にプレゼンする為の企画班を作り、動く。

・8月：夏季援農合宿を8月4～12日の期間で実施する。

活動1：県道一斉清掃への参加→翌日の地元紙『北國新聞』に取り上げられる。

活動2：新商品のプレゼンテーション →米粉パンの試作品を食べてもらい、評価を聞く。

活動3:「巨大ひな壇」の候補地下見 →花火の打ち上げ可能場所をいくつかピックアップする。

活動4:羽咋工業高校への訪問 →協力してもらおうデザイン科2年に在籍する生徒は皆女子であり力仕事は厳しいこと、また製作期間である2月末はテスト期間なので一緒に製作することは難しいと言う返事を頂く。しかし、是非協力したいと言う高校側の意欲もあり、生徒に今年度のひな壇のデザイン案だけ考えて頂くことに決まる。

・9~10月:羽咋市役所・菅池町会・羽咋工業高校と連絡・相談し、計画を進める。また、地域リーダー育成の中間報告に向けての資料作成および発表。

・11月:羽咋工業高校から郵送されて来たデザインを基に設計図作製。

→今年度は棚田を階段に見立てたトリックアートを用いて巨大ひな壇を製作することに決める。

・12月:菅池町を再訪問し、製作現場の最終決定。

→打ち上げ花火が可能且つ観客とひな壇が近い場所に決める。また、市役所の職員で花火打ち上げの資格を持っている崎田さんに当日の花火打ち上げを依頼し、了承を得る。市役所の高野係長さんからは宝達清水町で夏期に援農活動を行っている明治大学農学部の学生サークル『農学の士』を紹介され、彼らが今年度のひな壇合宿に急遽参加することが新たに決まる。

・1月:羽咋市役所・菅池町・明治大学生とメールおよび電話で打ち合わせ。

・2月:「巨大ひな壇」合宿を2月23~28日の期間で実施。

→今年は大雪の日が続き、予定していた製作現場が通行止めで行けなくなってしまった為、急遽製作場所が変更となる。それに伴いトリックアートを用いたひな壇が製作できなくなり例年通り竹を使用したひな壇を製作。26(土)・27(日)の2日間のお披露目は天候にも恵まれ延べ約1,100人以上の観客にお越しいただいた。また、製作段階から地元紙の北國新聞や北陸中日新聞をはじめ、ラジオやローカルテレビのメディア等にも取り上げていただき、菅池町の知名度向上に貢献。26日に打ち上げた花火は住民の方々にとっても好評で、大成功のうちに終了。

【今後の取り組み】

この活動を通じて私は、『誰かのために動くこと』の大変さを酷く痛感したと同時に『皆が同じ目標を持って動くことで期待以上に大きな結果を残せる』と言うことを改めて実感することができました。4月から私は社会人となるので、引き続きこのプロジェクトに参加していくことは難しいです。しかし、社員全員が同じ目標に向かって切磋琢磨し合える環境づくりに私が率先して努めていくことで会社、そしてその地域全体を活性化させていくことに繋がるのではないのかと考えます。活性化させる地域が例え異なっても何かしらのかたちで、これからも地域活性化運動に関わっていきたいと思います。